



栄小だより



合言葉 ◇自分が好き ◇なかまが好き ◇栄が好き

● 栄小 HP

新座市立栄小学校 令和6年度 10月号

ご声援ありがとうございました 運動会を終えて

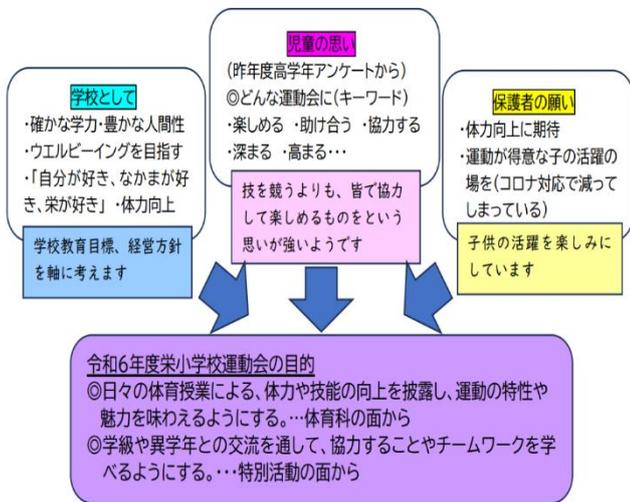
校長 浅田 敦子



子供を真ん中において

10月26日(土)に行われた運動会には多くの保護者の方、地域の方にお越しいただき、子供たちの活躍に声援を送っていただきました。また、会場整備や片付けなどもお手伝いいただきどうもありがとうございました。お子さんの成長の様子、一生懸命にがんばる姿を見ていただけたのではないのでしょうか。

今年度の運動会ですがコロナ禍を経て、また行事の準備に時間がかかりすぎてきたという働き方改革の視点から見て、ゼロベースから考え、下の図のようなコンセプトで取り組んでまいりました。



コロナ禍前の運動会の目的には、集団行動を学ぶことや地域との交流等も含まれていました。しかし、今年度の運動会の目的はこれらと完全に関係がないとするものではないのですが、体育科の面と特別活動の面からの大きな2本の柱を考えて取り組んできました。

子供たちがつくる運動会

結果として、種目としては今までの運動会と大きな変化はないかもしれませんが、ですが取り組み方は大きく変わっています。以前は先生の指示に

従って、ダンスの振り付け等を覚えてきましたが、今年度はどの学年も、学年に応じて、自分たちで振り付けを考えることが増えました。中学年、高学年では実行委員が中心に振り付けを考え、映像にしたり、皆に教えたりしていました。

また、整然と行進したり、並んだりする場は減りましたが、栄っ子グループでの大縄跳びなど、みんなで協力して楽しめる競技は増やしています。

【その他にも…】

ダンスは録画して進み具合を確認して行きました



中学年は「運動会もりあげ隊」をつくり、応援席での応援を低学年に教えました

このような運動会の取組を通して、子供たちは自己肯定感や自己有用感を感じたのではないかと思います。これからも子供を真ん中に置いて、子供たちが自分たちでつくる運動会を栄小学校では目指していきたいと考えています。

学力向上プラン

1学期に実施された、全国学力・学習状況調査(6年生)、埼玉県学力・学習状況調査(4、5、6年生)の結果や栄小児童の実態をもとに、学力向上プランを作成しました。

栄小学校の学力の状況ですが、各調査においてどの学年も県平均を上回っています。しかし、学力の二極化や主体的に学ぶことなどに、課題となる部分も見られます。

その課題解決のために「自ら学びに向かう児童の育成」(学校研究課題を中心に)と「基礎・基本の学力の定着」(キュビナ等を利用した反復練習や個に応じた課題への取組)を軸として取り組んでいきたいと考え、学力向上プランを作成しています。

※学力向上プラン:栄小学校 HP→「校長室より」に掲載
上にある QR コードよりお入りください